



見分森

第592号

2020年
6月3日(水)

発行:学校法人協和学院 水沢第一高等学校 (文責:藤沢)

読書や新聞に親しむ姿勢を

6月2日(火)～5日(金)までは図書委員会主催の「朝の読書週間」。図書委員が、「朝の読書の時間」に他学年の教室と一緒に読んで読書し、意識を高めました。図書委員長の伊藤天翔さんは「我々図書委員会では、『みんなでやる。毎日やる。好きな本でよい。ただ読むだけ。』という朝の読書4原則を設けています。本は読めば読むほど漢字が読めるようになっていたり、自分の知識が増えたりします。読書週間に機に、自分の知識を蓄え、同時に面白い本に出合っただけです。」と読書週間に際しての思いを語ってくれました。

本校では毎日8:35～8:45の10分間は、「朝の読書の時間」。各クラスにある学級文庫の本でも、図書館にある本でも、自分の本でも、基本的に自分が好きなものを持ち寄って読書を行います。この時間を始めて27年目になります。近年は月2回ほど「新聞を読む」日を設け、先生方が持ち回りで選んだ新聞記事を読んで、記事についての質問に応えたり、感想や意見をまとめて書いたりしています。

これまで2回の「新聞を読む」時間を過ごした1年生の千田紬美さんは「私は普段あまり新聞を読む習慣はないのですが、『新聞を読む』の時間を利用して新聞を読むことによって、世間で起きている出来事を深く知ることができました。新聞を読むことを習慣づけたいと思いました。」と話してくれました。



《校訓》 「神清智明(しんせいちみょう)」「松操竹節(しょうそうちくせつ)」「衆心成城(しゅうしんしろをなす)」
心は清く賢明で、確固たる信念を持ち、心を一につけば何事も成せる。

『教育の精神』 教えることは教えられることだ 育てることは育てられることだ

生徒と教師の間に この緊密な関係が成り立つときはじめて「教育」というステージの幕が開かれる
子どもから学びながら 父母や地域に支えられながら はじめて「学校」という豊かなドラマが 進行する

『教育目標』 人間の尊厳を自覚しそれを貫く人間 いかなる困難にもうちかかって、自主的に生きる人間
正しい知識と技術を身につけた人間に育てること

水沢第一高等学校の教育(共育)の考え方・土台は、この校訓と精神です。

代議員会 各種点検・挨拶運動

6月1日(月)～4日(火)まで、朝に代議員が挨拶運動、整容点検、スマホ提出・遅刻・マスク着用点検を実施中。自分たちで生活習慣の乱れ等を正し、落ち着いた学校生活を送ろうと企画しました。



校歌放送週間

5月18日(月)～21日(木)まで、昼休みに1年生の教室に覚えてもらうために校歌を流しました。1年生は生徒手帳にある校歌の歌詞を見ながら、放送を聞いていました。

新型コロナウイルス騒動がはやく収束し、みんなで大きな声で歌えるようになると良いですね。



6 月		
4	木	歯科検診①
5	金	
6	土	
7	日	
8	月	模試(1年午前・3年終日)
9	火	進学課外Start
10	水	心臓検診(2次) 2学年ボランティア&学レク
11	木	
12	金	尿検査
13	土	
14	日	
15	月	
16	火	運営委員会
17	水	
18	木	歯科検診② 職員会議 部活動停止
19	金	内科検診 漢字検定
20	土	
21	日	珠算・電卓実務検定
22	月	
23	火	
24	水	
25	木	前期中間考查
26	金	
27	土	
28	日	
29	月	
30	火	生活・スマホア▼ケート
7 月		
1	水	
2	木	
3	金	
4	土	教員勤務日
5	日	ビジネス文書実務検定
6	月	



調理師養成施設3年生が1年生に歓迎の食事会

5月22日(金)、調理科3年生が調理科1年生歓迎のお食事会を開きました。

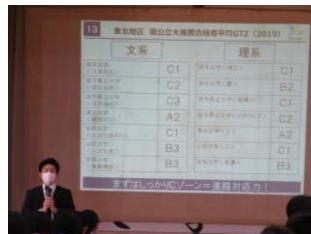
本校調理科は、高校卒業を認定(文部科学省管轄)されると調理師免許が取得(厚生労働省管轄)できる調理師養成施設。その先輩である調理科3年生がこれまで調理実習で作ってきた料理などを紹介しつつ、2年間でどのような料理ができるようになるかを1年生に実際作って提供し、調理師養成施設に学ぶ生徒という意識を高めてもらおうと企画しました。食事会は、座席を対面にならないように互い違いにずらしてセッティングしたり、生焼けを避けるためにハンバーグを一度焼いた後に再度オープンで加熱したり等心配りも。

当日は短縮時程で少し慌ただしさもありましたが、1年生はスライドショーや試食を通して、3年生の思いを受け取っていました。

1年生の小山侑大さんは「ハンバーグ・コンソメスープ・ミモザサラダ・イチゴのヨーグルトムースをいただきました！特にハンバーグは肉汁がすごく、中のチーズがとろっとしていてうまみが感じられ、とてもおいしかったです。他にもコンソメスープはニンジンやキャベツの甘みが出ていて、かつぱーコンのうまみが出ていてとても美味しくいただきました。3年生が作ったのかと思うと、クオリティが高く、驚きを禁じ得ませんでした！僕も3年生のように努力を重ね、人に出せるような料理を作れるように頑張りたいです。」と話してくれました。

模試振り返り学習会

5月26日(火)の午後は、模試の振り返り講演会。1年生と2年生がそれぞれ1時間ずつ受講しました。講師は(株)ベッセホールディングの細川浩直さん。自らの高校時代の経験、日本や世界の情勢、模試の結果の見方等、多岐にわたる話をしてくださいました。生徒たちは自分の模試の結果と照らし合わせながら、講演を聴いていました。参加した2年生の高橋昂汰さんは「模試は振り返りが大事だと、学習会で改めて感じた。一人ひとりに個別のレポートが配布されたので、今の自分の学力を認識し、今後の学習の見直し、向上につなげたい。模試が良かった人も悪かった人も次の模試に向けてクラスみんな頑張っていきたい。」と今後の学習についての思いを話してくれました。放課後は教員の研修会を行いました。



ソーシャルディスタンスや地域貢献の考え方を1・2年生に

5月20日(水)の午後に1時間ずつ、3年生4グループが、コロナ禍の中で自分たちができることとして先日の探究学習の発表で頂いたアドバイスを生かしてアップグレードしたものを、1年生と2年生それぞれにプレゼンテーションしました。

プレゼンを聴いた1年3組の吉田聖菜さんは「今の世の中はコロナウイルスでいろいろなことができなかつたりして苦しい状況にありますが、3年生の皆さんが考えてくれた企画に少しでも参加して、全国の皆さんの役に立てるように頑張りたいと思いました。自分たちが今できることは、手洗いうがい・マスクの着用です。またソーシャルディスタンスが大切だと思うので、岩手県で誰一人感染者を出さないようにできることは何かを考えて生活していきたいです。2年後、私たちもこのような発表ができるように頑張ります。」と3年生の取り組みについて話してくれました。



「三密」を避けるため 放送を使って生徒総会

5月27日(水)午後は、COVID-19対応の休校等で順延になっていた生徒総会を放送で行いました。事前に議案書を配布し、質問用紙を配布し、回収。そこで出された質問や意見に放送で回答したり、議案に対する賛否の数を各クラス代議員→各階集計係→本部に報告、結果を放送で知らせたり、放送室前に執行部が待機したり、総会に集中する一助に応援リーダーが各クラスに入ったり、と工夫を凝らして進行していました。総会の最後には、執行委員長が盗難事件やSNSでストレスのはけ口にされた方が亡くなったニュースなどに触れながら、新しい社会を築いていく中での信頼関係の重要性や自らの行動の律し方について全校に訴え、会を閉じました。



教育相談日

基本毎月の第1週目は(水)、2週目以降は(火)が教育相談日となっており、スクールカウンセラーの高橋昇先生が教育相談室(保健室隣)にいらっやいます。相談対応は原則8:45~16:45までの1時間、予約制です。相談のご希望がある場合には、担任または養護教諭(及川志保先生)にお話してください。相談日時を調整のうえ、ご連絡いたします。生徒の皆さんはもちろん、保護者の方のみの相談も受け付けております。お気軽にご連絡ください。(在室予定 6/3.9.16.23 7/2.8.14.21 8/25)